

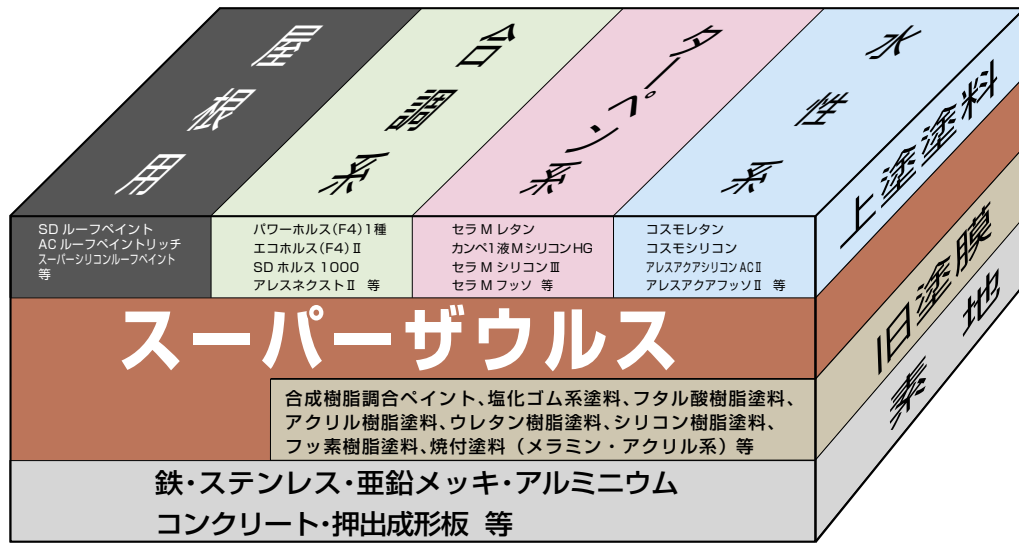
ターペン可溶変性エポキシ系万能下塗り
スーパーザウルス

最強の下塗性能と使いやすさを両立させました。



進化は新たなステージへ。——最高級エポキシ

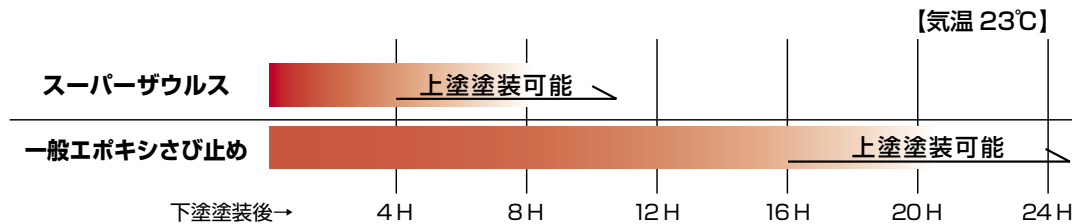
■ 巾広い素材・旧塗膜・上塗適性



※クロム酸塩化成処理された溶融亜鉛メッキには適用できません。
※コンクリート等のアルカリ素材はSDルーフペイント、ACルーフペイントリッチ及び台調系塗料で仕上げるできません。

■ 速乾性

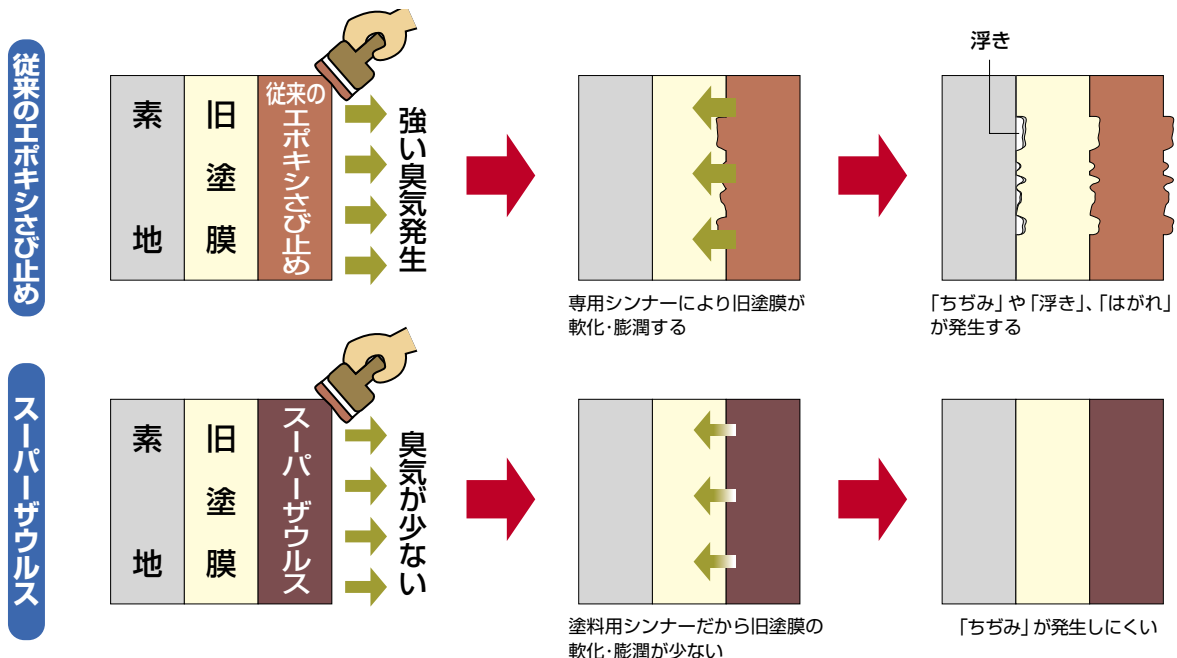
一般のエポキシさび止め 비해、上塗可能となる時間が短いため、工事期間を短縮できます。



※気温等の条件により最短上塗可能時間は変動します。最終ページの「乾燥時間・塗装間隔」をご参照ください。

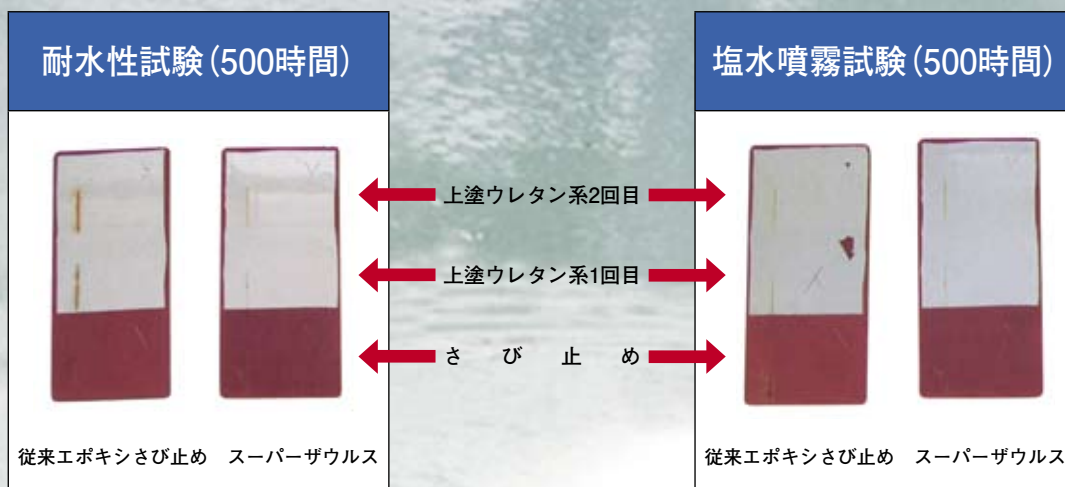
■ 旧塗膜のリフティング防止

ターペンタイプだから“ちぢみ”や“はがれ”が発生しにくい。



最強の防さび性

抜群の素地(特にさび層)浸透性が、高い防さび力を実現。



各種下塗塗料比較

項目		スーパーザウルス	従来エポキシ樹脂シーラー	従来エポキシ樹脂さび止め	鉛・クロムフリーさび止め塗料	
適合規格		JASS 18M-109	JASS 18M-201	JIS K 5551 A種	JIS K 5674 1種	
作業性	最短塗装間隔 (23℃)	4時間	24時間	16時間	16時間	
	ポットライフ (23℃)	7時間	5時間	8時間	—	
性	素材適性	鉄	◎	×	◎	
		亜鉛めっき	◎	×	○	×
		アルミニウム	◎	×	○	×
		ステンレス	◎	×	◎	×
		コンクリート	◎	◎	○	×
		押出成型板	◎	◎	○	×
能	上塗適性	合成樹脂調合ペイント	◎	×	△注)	◎
		ウレタン樹脂塗料	強溶剤形以外 ◎	◎	◎	△
		アクリルシリコン樹脂塗料		◎	◎	—
		ふっ素樹脂塗料		◎	◎	—
付着性	◎	◎		◎	○	
耐アルカリ性	◎	◎	◎	—		
耐揮発油性	◎	◎	◎	—		
耐衝撃性	◎	◎	◎	—		
防食性	◎	—	◎	—		
耐塩水噴霧試験240 h	◎	—	◎	—		
安全性	希釈溶剤	弱溶剤	強溶剤	強溶剤	弱溶剤	
	配合量 %	TVOC	35.9	70 ~ 80	30 ~ 40	5 ~ 20
		トルエン	配合せず*	7 ~ 10	2 ~ 5	配合せず*
		キシレン	配合せず*	30 ~ 40	5 ~ 10	配合せず*
		鉛	配合せず*	配合せず*	配合せず*	配合せず*
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆~ F☆☆☆☆☆		

注) 環境条件等により層間剥離することがあります。

※ 配合していませんが、原材料などの不純物として極微量検出される場合があります。

●コンクリート モルタル・押出成型板面(平滑仕上げ) 新設						
工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μ/回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。(pH10以下、含水率8%以下)					
下塗	スーパーザウルス (ベース 硬化剤=9/1) 塗料用シンナー A	1	0.14	—	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー
			0.17			エアレス
中塗	セラMシリコンⅢ 中塗 (ベース 硬化剤=10/1) 塗料用シンナー A	1	0.12	—	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー
			0.14			エアレス
上塗	セラMシリコンⅢ (ベース 硬化剤=6/1) 塗料用シンナー A	1	0.12	—	—	ハケ・ローラー
			0.14			エアレス

●一般鉄部 新設						
工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μ/回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	劣化した黒皮やさびは、電動工具等で除去し、全面清掃、脱脂、目荒しを行い、被塗面を清浄にする。					
下塗	スーパーザウルス (ベース 硬化剤=9/1) 塗料用シンナー A	2	0.14	35	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー
			0.17			エアレス
中塗	セラMシリコンⅢ 中塗 (ベース 硬化剤=10/1) 塗料用シンナー A	1	0.12	25	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー
			0.14			エアレス
上塗	セラMシリコンⅢ (ベース 硬化剤=6/1) 塗料用シンナー A	1	0.12	25	—	ハケ・ローラー
			0.14			エアレス

注意事項

- 上塗塗料には「セラMシリコンⅢ」の他、前々ページの適性上塗塗料が使用できます。詳細は各カタログをご参照ください。
- 上塗に「アレスエコレタンⅡ」は不適です。
- 低温の環境下では乾燥が遅くなりますので、上塗との塗装間隔を充分空けてください。
- 標準所要量、膜厚は被塗物の素地や形状、塗装方法などにより増減することがあります。
- スーパーザウルスは、乾燥過程で水(降雨、結露等)の影響を受けると白化することがあります。白化した場合は軽く表面を研磨するなどの処置をしてから次の工程に移ってください。
- 上塗に強溶剤系塗料、及びエコホルス(F4)Ⅱを使用する場合には営業にお問合せください。

○施工上のポイント

1. 塗料の混合割合

スーパーザウルスは2液形塗料です。ベースと硬化剤は、9(ベース)：1(硬化剤)の割合で混合してからご使用ください。

2. 希釈剤

塗料用シンナー Aを規定の割合で希釈して使用してください。

3. 塗装用具及び洗浄

ハケ・ローラー・エアレスで塗装できます。使用後塗装用具の洗浄には、ラッカーシンナー又はエポキシシンナーをご使用ください。

4. ポットライフ

ベースと硬化剤を混合してから使用できる時間の目安です。

5℃	23℃	30℃
12時間	7時間	5時間

5. 乾燥時間・塗装間隔

温度		5℃	23℃	30℃
乾燥時間	指触	4時間	1.5時間	30分
	半硬化	16時間	3時間	2時間
標準塗装間隔	最短	24時間	4時間	3時間
	最長	7日	7日	7日

●亜鉛めっき・アルミ・ステンレス面						
工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μ/回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	全面清掃、脱脂、目荒しを行い、被塗面を清浄にする。白さびなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。					
下塗	スーパーザウルス (ベース 硬化剤=9/1) 塗料用シンナー A	1	0.14	35	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー
			0.17			エアレス
中塗	セラMシリコンⅢ 中塗 (ベース 硬化剤=10/1) 塗料用シンナー A	1	0.12	25	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー
			0.14			エアレス
上塗	セラMシリコンⅢ (ベース 硬化剤=6/1) 塗料用シンナー A	1	0.12	25	—	ハケ・ローラー
			0.14			エアレス

●一般鉄部 塗替						
工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μ/回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	電動工具・手工具等で、さびや劣化した旧塗膜を念急に除去する。活版は目粗しを行い、清浄な面とする。(3種ケレン) 素地露出部はスーパーザウルスで補修塗りを行う。					
下塗	スーパーザウルス (ベース 硬化剤=9/1) 塗料用シンナー A	1	0.14	35	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー
			0.17			エアレス
中塗	セラMシリコンⅢ 中塗 (ベース 硬化剤=10/1) 塗料用シンナー A	1	0.12	25	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー
			0.14			エアレス
上塗	セラMシリコンⅢ (ベース 硬化剤=6/1) 塗料用シンナー A	1	0.12	25	—	ハケ・ローラー
			0.14			エアレス

○製品取扱上の注意事項(安全衛生他)

スーパーザウルスの主成分であるエポキシ樹脂および硬化剤は、皮膚及び粘膜に対する刺激作用があります。吸入したり、直接皮ふにふれると中毒や炎症を起こすおそれがあります。スーパーザウルスは第2石油類の危険物に該当し、第3種有機溶剤を使用しています。一般に第3種有機溶剤を使用した塗料には有毒性があり、作業環境と取扱い方法が義務づけられています。安全・衛生に注意し、正しく製品をご使用いただくために、特に下記の事項を守って下さい。

注意事項

- 下記の注意事項を守って下さい。
- 詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。火災時には、炭酸ガス泡、又は、粉末消火器を用いること。

保管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うよう指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

- 本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
- 北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
- 東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
- 北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
- 東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
- 中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
- 大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
- 中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
- 四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
- 九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

- 容量
- ベース：14.4kg
- 硬化剤：1.6kg

ご用命は